

鎮痛成分  
フェルピナク3.0%配合



清涼成分  
l-メントール3.0%配合

### 効能・効果

肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎(手・手首・足首の痛みと腫れ)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

### 用法・用量

1日2~4回適量を患部に塗布してください。

### <用法・用量に関連する注意>

- (1)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水またはぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には眼科医の診療を受けてください。
- (2)ラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないでください。
- (3)外用にのみ使用してください。
- (4)定められた用法・用量を守ってください。

### 成分・分量

本品100mL中

フェルピナク……3.0g

l-メントール……3.0g

添加物としてエタノール、グリセリン、プロピレングリコール、トリエタノールアミン、ヒドロキシプロピルセルロース、香料を含有する。

ラフェルサ®

第2類医薬品

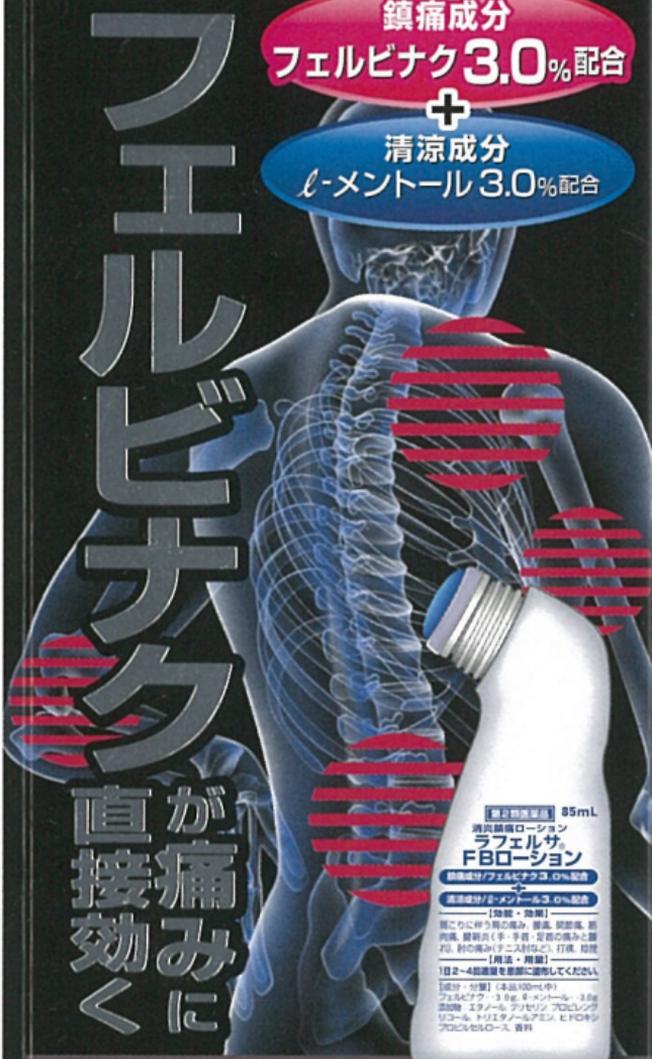
# 肩の痛み、腰痛、 筋肉痛、関節痛

鎮痛成分  
フェルピナク3.0%配合



清涼成分  
l-メントール3.0%配合

フェルピナク  
直接効みに



【商品容量】 85mL

消炎鎮痛ローション

ラフェルサ®

FBローション

鎮痛成分/フェルピナク3.0%配合

清涼成分/l-メントール3.0%配合

【性状・効能】

肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎(手・手首・足首の痛みと腫れ)肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

【用法・用量】

1日2~4回適量を患部に塗布してください。

【成分・分量】

フェルピナク……3.0g

l-メントール……3.0g

添加物: エタノール、グリセリン、プロピレングリコール、トリエタノールアミン、ヒドロキシプロピルセルロース、香料

消炎鎮痛ローション

ラフェルサ®

FBローション

セルフメディケーション

税 控除 対象

85mL



4 935583 204186

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる場合があります。)
- (4) 火気に近づけないでください。
- (5) 火の中に入れてください。
- (6) 使用済みの容器は火中に投じないでください。
- (7) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。また、一度開封した後は使用期限内であっても品質保持の点からなるべくすみやかに使用してください。
- (8) 使用後はキャップをしっかりと締めてください。

## 副作用被害救済制度

☎ 0120-149-931

本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

発売元 **白金製薬株式会社**  
〒634-0803  
奈良県橿原市上品寺町515

お客様相談室

☎ 0744-21-5588

受付時間

9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元 **ダイヤ製薬株式会社**  
〒634-0803  
奈良県橿原市上品寺町515

MADE IN JAPAN



製造  
番号  
使用  
期限

## 第2類 医薬品

販売名 **ラフェルサ®FBローション** 外用消炎鎮痛剤

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。また、必要なときに読めるように大切に保管してください。

## 特長

- 消炎鎮痛成分フェルビナクが皮ふから浸透して炎症を起こした筋肉や関節に直接働きます。
- 傾斜型グリップボトルにより背中や腰などの手の届きにくいところにも塗りやすい形状です。

## ⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起りやすくなります)

### 1. 次の人は使用しないでください

- (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
- (2) ぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 妊婦または妊娠していると思われる人。
- (4) 授乳中の人。
- (5) 15歳未満の小児。

### 2. 次の部位には使用しないでください

- (1) 目の周囲、粘膜等。
- (2) 湿疹、かぶれ、傷口。
- (3) みずむし・たむし等または化膿している患部。



### ■ 相談すること

### 1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

### 2. 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ、はれ、ヒリヒリ感、かぶれ、水疱

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	使用后すぐに、皮ふのかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

### 3. 5~6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください



\* 1 6 1 0 A 0 5 \*

2016年10月改訂 第5版